

令和5年9月26日

令和5年度 第1回美幌町総合教育会議 会議録

美 幌 町 教 育 委 員 会

令和5年度 第1回美幌町総合教育会議 会議録

1 開催日時 令和5年9月26日(火)

開会	13時35分
閉会	14時19分

2 場 所 美幌町役場1階 第1会議室①②③

3 出席者

(構成員)

美幌町長	平野浩司
美幌町教育委員会	
教育長	矢萩浩
教育長職務代理者	加藤哲彦
委員	小川慶子
委員	大沼美紀
委員	東海政博

(構成員以外の出席者)

美幌町

副町長	高崎利明
総務部長	那須清二
美幌町教育委員会	
教育部長	遠藤明
学校教育課長	中尾亘
指導主事	藪下一己
指導主事	木野村寧
学校給食課長	片平英樹
社会教育課長	浅野謙司
スポーツ振興課長	弓山俊
博物館課長	鬼丸和幸
図書館長	竹花史康
学校教育グループ主査	
	長尾英孝
総務グループ主査	佐藤大樹
総務グループ主査	加藤千恵

(傍聴者) なし

13時35分 開会

1 開 会

○遠藤教育部長 皆様、お疲れさまでございます。ただいまから令和5年度第1回美幌町総合教育会議を開催させていただきます。

本日の出席者につきましては、議案書の2ページに掲載しておりますので、ご確認のほどよろしくお願いたします。

また、本会議は公開となっておりますので、あらかじめご承知おき願います。

それでは、お手元の会議次第に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

2 挨拶

○遠藤教育部長 初めに、会議の主宰者であります平野町長からご挨拶を頂きます。よろしくお願いたします。

○平野町長 改めて皆さん、こんにちは。なかなか教育委員の皆さんとゆっくりお話しする機会がちょっと少なくて申し訳なく思っております。今日は第1回ということで、これから皆さんと会議をさせていただきますけれども、実は私が町長になって2期目ということでありまして。2期目の最初の会議ということで、非常に今まで4年間やらせていただいたわけですが、その中においても、非常に教育については、非常に私も重要な施策事業で進めてきたつもりであります。

今回の施策にも、非常に子供たちだけではなくて、幅広く、本当に子育てする世代から、対象からいえば生まれて亡くなるまで、そういうことについて学ぶという概念からいけば、本当に教育長以下、教育委員会の委員さん4人の、言うならば5人の皆さんの役割というのは非常に大きいのかなというふうに思っています。皆さんにプレッシャーをかけるわけではなくて、そういう意味では、5人の合議制という中でいけば、これからいろいろな

ことに対して、しっかりと向かっていってほしいですし、また、ある意味では、教育長以下ですね、大きな決断をしなければいけない部分かなというふうに、そういう意味では本当に一つ一つをしっかりとスタッフ、また、それから私と協議をさせていただいて決めていく時期に、今までもそうしていただいておりますけれど、一層多くなるのかなというふうに思っています。

その中で考えれば、学校教育に特化というか、学校教育についてお話しさせていただければ、小中一貫ということでの政策に上げてあります。このことについては、当然皆さんご存じだと思いますけれども、やはり生まれてくる子供たちが少ないという部分でいけば、私が教育長をやらせていただいたときの推計よりもかなり落ちているのです。これは申し訳ないですけど、私もそこまでは深く、考えてはいたのですが、このギャップがちよっと。例えば千人の中で800人とか、そういうレベルならいいのですが、100人の中で、そこで10も20も違うという、このギャップというのは、正直言って本当に私自身も驚いているというよりも、これは教育だけではなくて、町の施策全体をきちんと見直さなければいけないよねというのが、正直、教育長以外に副町長来ていますけれど、3人でよく話していることであります。

そういう意味からいけば、本当に昨年度の年度でいったら61で、本当に、今後10年ぐらいのスパンでどういう状況かというのが見えてきていますし、今年は月によっては誰も生まれていない月があります。これもまたすごい悲しいことであって、されど、それも現実として受け止めた中で、今日はしっかり学校の在り方も考えなければいけないのかなというふうに思っていますので、この辺はまた、今回総合教育会議が終わった後でいろいろ皆さんと協議ができますので、そのときにお話をさせていただきたいというふうに思います。

今日は、毎回町長が次の町長になったとき

に、美幌町の教育大綱というものを基本的に見直す時期に並行させていただいておりますので、今日は主に美幌町の教育大綱について、皆様方がある程度、大綱については教育委員会の基本的なことを全部委任させていただいて、その中で皆さんが事務局のほうである程度まとめて、そして、それを教育委員の皆さんが見ていただいて、私も見せていただいて、今日は、最終的にこの大綱についての取りまとめができればというふうに思っていますので、ちょっと前段話が長くなりましたけれども、どうぞよろしく願いいたします。

○遠藤教育部長 ありがとうございます。

続きまして、教育委員会を代表いたします、矢萩教育長にご挨拶をお願いいたします。

○矢萩教育長 改めまして、皆さんお疲れさまでございます。令和5年度第1回目の総合教育会議に当たり、教育長として一言ご挨拶を申し上げます。

今年の5月8日、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、現在は教育活動への制限もほとんどなくなったところであります。

しかしながら、この3年余りの間、人々の価値観やコロナ禍による生活様式と働き方が大きくさま変わりしており、これまでの知識や経験だけでは正解を見出すことが難しい時代となっております。社会の在り方そのものが、従来とは劇的に変化し、先行きが不透明で予測が困難な状況の中、教育行政の果たす役割はますます重要となっております。

このような時代にあっても、子供たちが未来を切り開いていく力を育み、町民一人一人が健康で心豊かな人生を送ることができ、生きがいを感じられる学びの実現は、教育行政の使命であると思っております。

本町の学校教育におきましても、生きる力を育むという理念の下、知・徳・体の調和の取れた教育環境づくりに取り組んでいるところであります。

また、社会教育においては、生涯を通じて互いに学び高め合える活力を生む生涯学習の取組を、学校、家庭、地域など力を結集して

推進しております。

時代を担う子供たちが夢を語り合い、心豊かにたくましく成長できることを願い、さらに町民一人一人が生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、しっかりと教育委員の皆さんと協議し、皆さんの合意を得て、様々な教育課題に積極的に取り組んで進めてまいりたいと存じます。

本日は短い時間ではありますが、美幌町の教育の状況を平野町長と共有させていただき、平野町長の一層のご支援を頂きたく、どうぞよろしくお願いいたします。

○遠藤教育部長 ありがとうございます。

では、これより議事に入らせていただきますが、議事進行につきましては、美幌町総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づきまして、町長が会議の議長となりますことから、平野町長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○平野町長 それでは、進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3 議 事

(1) 美幌町教育大綱について

○平野町長 それでは、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

会議次第の第3、議事の(1)美幌町教育大綱について、事務局からご説明をお願いします。

また、会議での発言でございますけれども、着席で進めたいと思いますので、あえて立たなくても結構でございますので、よろしくお願い致します。あとは、発言のときは挙手ということでもよろしくお願い致します。

それでは、事務局よりよろしくお願い致します。

○中尾学校教育課長 それでは、私のほうから美幌町教育大綱(案)という形でご説明させていただきます。

資料番号1番になります。

初めに、美幌町教育大綱でございますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、美幌町の教育が目指す基本目標や方針を明らかにするものであります。

美幌町総合教育会議におきまして、町長と教育委員会が協議・調整を行い、町長が策定するものとなっております。

また、町長の任期が4年であることから、令和5年度から8年度の4年間を対象期間としており、本町では平成28年度に最初の教育大綱を策定、その後4年後の令和元年に一部改定を経て、今回の改定となっております。

次に、大綱に定めるべき事項でございます。地方公共団体の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策についてその目標を定めるものであり、詳細な施策について策定するものではないとされておりますので、あらかじめご承知おきいただきたいと思っております。

それでは、大綱（案）の説明に入らせていただきます。

前回の大綱から新たに追加となった箇所及び変更となった箇所には下線を引いております。

まず1ページ目になります。1番のはじめにであります。

令和2年12月から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育現場及び授業の在り方等大きく変容され、さらに様々な社会課題の状況について触れております。

続きまして、2番、大綱の位置付けの変更箇所でございます。

イメージ図の右側、国の第4期教育振興基本計画、こちらが令和5年6月16日に策定されたことから、3期から4期というふうに変更しております。

続きまして、2ページ目、VI、大綱の基本方針になります。

1、学校教育の充実になります。前回の大綱以後、現状に合わせた整理を行いまして、

(1)のSDGs・ESDの推進、3ページ目になりますが、(2)ICT教育の推進、(3)小中一貫教育の推進についての項目を

新たに今回追加しております。

(4) 幼児教育の推進から4ページ目の(13)学校施設や良好な教育環境の整備・充実につきましては、文言の整理を行っております。

続きまして、5ページ目、2、社会教育の充実。こちらにつきましても、現状に合わせた文言整理を行っております。

(3)芸術・文化活動の推進、(4)スポーツの推進、(5)社会教育施設や良好な教育環境の整備・充実、6ページ目になりますが、(6)第8次美幌町社会教育中期計画の推進の各内容につきましても文言整理等を行い、大綱の案とさせていただいたところでございます。

なお、参考までに、次ページ以降に新旧対照表を添付しております。

大綱策定までの主なスケジュールとなっておりますが、既に7月27日開催の第4回美幌町教育委員会協議会並びに8月28日開催の第5回協議会において、委員の皆様へ説明を行い、その後、質問をお受けした後、一部修正を行い、町長と最終協議を行いながら、今回の最終案の確定となっております。

本日開催の第1回総合教育会議において協議をさせていただいた後、原案の確定、10月には美幌町議会経済教育常任委員会への説明を経て、11月にはパブリックコメントを実施、12月下旬には決定する見込みとなっております。

以上、美幌町教育大綱（案）についてご説明させていただきました。よろしくお願いたします。

○矢萩教育長 それでは、私から今回の教育大綱策定に当たっての基本的な部分について補足をさせていただきます。

まず、屋台骨となります美幌町教育のめざす姿につきましては、昭和58年2月作成の美幌町教育目標を引き続き掲げたところであります。

次に、本大綱の基本目標は、現在推進中の第6期美幌町総合計画における教育分野、育

の教育目標であります、「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」を引き続き掲げております。

このように、町の最上位計画であります美幌町総合計画、そして美幌町教育の羅針盤でもあります美幌町教育目標を着実に推進していくために、本大綱を定めるものであります。

次に、大綱の基本方針のうち、1の学校教育の充実については、現在の学習指導要領が、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から完全実施されたところであり、主体的・対話的で深い学び、アクティブ・ラーニングを実践した教育活動を展開する中で生きる力を育んできたところであります。

この取組の中で今回の取組で、今回の大綱で新たに掲げた3点について説明をさせていただきます。

1つ目のSDGs・ESDの推進についてでありますけれども、SDGs持続可能な開発目標についてでありますけれども、日本が掲げた17の目標のうち、教育に関しては、目標4で、すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を確保するものとされております。

一方、ESD—Education for sustainable development—こちらは直訳すると、持続可能な開発のための教育であり、簡単に言いますと、持続可能な社会づくりのための担い手を育む教育とされているところでございます。

2023年度から2027年度までの4年間を計画期間とした北海道教育推進計画においても、持続可能な社会の創り手を育む主体的・対話的で深い学びの育成、多様性を尊重した共生社会の実現に向けたESDの推進を目指すとしており、本町においても、この考えを子供たちに学んでもらい実践しようとするものであります。

次に、ICT教育の推進でありますけれども、コロナ禍を契機として一気に加速したところであり、中でも本町は、1人1台端末に

加えて電子黒板を普通教室全教室に配置するなど、管内でも群を抜いた整備状況にあります。授業や家庭学習でいかに使いこなして幅を広げていくかの視点に立って、全庁的なICT推進委員会、さらには各学校で取り組んでいるところでありますが、一方では学校間での進捗、意識に濃淡があることが課題ともされております。

ICT機器を上手に活用し、子供たちの学習内容の確実な定着を図ることはもとより、情報活用能力、言語能力の向上、ひいては個別最適な学び、協働的な学びを一体的に充実していこうとするものであります。

3番目の小中一貫教育の推進でありますけれども、令和3年1月の中教審答申で、9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について示されたことを受けて、教育委員さん、事務局では義務教育学校小中一貫教育の実践校を継続的に視察してきたところであります。

本町においても、昨年の出生数が61名と近年の最少であり、今年においても同様で、今後も回復の兆しが見通せないことを踏まえると、待ったなしの状況であると考えております。地域の宝であります子供たちへ良質な教育環境、教育条件を提供し続けるためにも、小中一貫教育と学校の最適化を進めていくものであります。

以上、私から補足をさせていただきました。よろしく願いいたします。

○平野町長 ありがとうございます。それでは、皆さん見ていただいているので、最終確認をさせていただきますかね。

初めに、はじめにから1ページから大綱の基本目標については、今、教育長のほうから補足をさせていただいております。私も2期目に当たって、もともと町の総合計画、町の上位計画について、しっかりこの実施に向けて努力するよということ、1期目からそういう話をさせていただいています。当然それに合わせて、美幌町の教育目標のめざす姿というのを関連づけてこの大綱をつくっておりますので、ここに関しては別に問題ない

ですね、皆さん、いいですね。

今回は、大綱の基本方針として、学校教育の部分で新たに3項目を足していただきました。内容的には非常に理解する内容でもありますし、これから皆さんとしっかりと進めていかなければいけないことについても記載、

(3)の小中一貫教育の推進、それからICTの教育についても、これも実際、国等で、今後これを更新することも含めた基金の造成とかそういうこともきちんと進めたりもしているのです、この辺はしっかり入れていただいたので、あとは、(4)以降については、今までの状況における加筆をさせていただいて、4ページまでまとめていただきました。この辺も大丈夫ですね、いいですか。たくさん斜線は引いて、皆さんのも引いてありますよね。中身とすれば、改正については、今の状況を踏まえた表現の仕方を変えるということの中で、基本的にはそんなに変わっていないのかなというふうに思っています。

それで今回、皆さんと話の中で、新たな部分は(1)から(3)まではよしとして、あとは(4)からずっと来て(11)、この中で今進めていただいている部分をちょっと改正ではあるのですけれども、新たな新規というような部分でいけば、上から4行目ですかね、特に、スポーツ・芸術分野などについてはということで、4行目の部活動の地域移行を含めた特色ある学校づくりを進めますという部分では、この辺はしっかりやっていたいかなければいけないのかなと。これは加筆というよりも、新たな項目をきちんと認識してほしいという思いの中でのことでありまして、この辺は皆さんご理解いただけたと思います。これがちょっと、再度、私も含めて皆さんと確認したいというふうに思います。

以上、4ページまでの学校教育についてはどうですか、よろしいですか。

それでは、次に5ページの社会教育からずっと行って、最後まで行くのですけれども、実質的には6ページまでの社会教育について。私の公約なんかでもちょっとお話ししている

中でいけば、芸術・文化、それからスポーツについては、要はこれからの未来の子供たち、それぞれの分野の中のアスリート、アーティストをしっかり育てていこうということを明確に整理をしていただいております。この辺は何かありますか。一応今回まとめていただいた部分について、トータル的にもしご発言、それから実際に皆さんこれを見ながら、この辺はちょっと気になったけれど、しっかりこういうふうにまとめましたよというのがあればご意見いただいて受けます。(「1つだけよろしいですか」と呼ぶ者あり)加藤教育長職務代理人、よろしくお願いします。

○加藤教育長職務代理人 学校教育の部分の(4)から以降につきましては、全体からのまた改正ですとか、時代に合わせたの変化があるということで、あまり私のほうから話することはないのですけれども、(1)から(3)までの新しくできた部分につきましては、今までなかった発想ですとか、今までなかったような環境ですとか、そういったものが織り込まれて、これからの学校教育の中で子供たちにそのことをしっかりと学んでいただきたいな、理解していただきたいなというものもありますし、またICT、小中一貫、こういったことも大きな学校環境の中においては、かなり大きな変化をきたしているところでございます。それに併せて、今年度まで十分な予算を取っていただいて、整備環境を整えていただくことにご尽力いただいたことは本当にありがたいことだと思います。これからは、そのせつかくある機会をどう学校の中で生かしていくか。今教育長の話もありましたけれども、学校間のほうにも温度差があるようなところもあるかもしれません。これはやはり時間をかけなければなかなか行われていけないところかなと思いますけれども、その使い方、また使う先生方、そして、それを使って学ぶ子供たちが、これから先にも十分に環境を整えていただいて、これから先の子供たちが、これから先の先生方が、よりよくその機械というものを使いこなせるような、

そういう環境をサポートしていただければな
とそのように思いますので、ぜひともよろし
くお願いいたします。

○平野町長 ありがとうございます。学校教育
についてのご意見ということで、しっかり
お伺いしました。

あと皆様のほうから、皆さん、ICT教育
でGIGAスクールで子供たち、1年生の授
業でも見てきましたよね。最近見ましたか、
どうですか。みんな、こういう端末を使って
いますよね。元気でやっています。

何でこんな話をしたかという、小さいと
ちょっと……、この場所で言うのは適当でな
いかもしれない。たまたま他の町で孫がいて、
参観のチャンスが、私ではないけれど、あつ
たみたいなのですね。それを1年生なので小
学校1年生見せてもらって、イメージは1年
生って、すごく非常にしっかり座っていない
というのが、しっかり座っていて、それで皆
さんが端末を持って本当にしっかりそれを使
って勉強していたということに、正直言って、
妻がすごい感動して帰ってきたというかです
ね。

だからイメージ的に、本当にそういう小さ
な子供たちって扱えるのかなという半信半疑
の、ゲーム機は使えるのだろうけれど。でも、
本当に勉強の中で子供たちがそれが本当に、
今年入った子たちがしっかり落ち着いて、そ
して、こういう端末を使って勉強しているこ
とに対して、私どもの年代とすれば感動的な
ことで、最初の報告がびっくりしたというよ
り、ちょっと感動したのだよね。だから、本
当にすばらしいことかなと思ったことと、こ
れをしっかりと導入したことに対してよかつ
たなというか、ちょっとそういうふうな、そう
思って、ちょっと余計な話を聞いただけで、
すみません。何かそういうような、こうい
うところって時代とともに変わって、すごいな
というようなことがあれば。どうぞ、せっか
くですから。

○小川委員 低学年のを見せていただいたとき、
タイミングが悪く体育だったり、国語でも音

読していたりということで、Chrome b
ook使っていなかったこともあるのですけ
れども、結構、一緒に見せていただいたとき
よりも、すごく姿勢よく気持ちよく勉強して
いる場面がすごく多くて、先生方もよりご尽
力されているのだなというところは実感する
ところです。

ICTであるということは、電子黒板も大
きいですし、勉強につまづきがある子供たち
にとっても、視覚から入ったほうがよりス
ムーズということがあって、非常に勉強も楽
しくなってくるところだと思うのです。そう
やって視覚で見たり、書いたり、調べたりと
いうことでやりながら、最後またノートに自
分で書いたりというところで学力の定着とい
うことで、先生方も努力されていると思っ
ております。ですので、やっぱり子供たちスマ
ホだったり、ゲームだったりという、視覚か
ら入る、音から入るところが刺激で大き
い分野を占めている分、昔ながらの黒板に
書いて先生がずっとお話しされるというの
だけでは、なかなか勉強が面白いというふう
には結びつかなくなってきている時代かなと思
いますので、こういうふうにはICTをたくさ
ん入れてくださったことで先生方も授業がし
やすいと思いますし、子供たちも一生に1回
だけのその日のその1時間ですけれど、充実
して勉強しているというふうには思っており
ます。ありがとうございます。

○平野町長 ありがとうございます。お礼を
言ってほしいということではなくて、本当に
実感としてよかつたなというかですね、今日
も本当に最初言いましたけれど、皆さん、教
育委員会の皆さん、ちゃんとパソコンを持っ
てみんなこういう感じで、ちょっと反省して
おります。私のほうは、紙が、紙ベースが結
構多いので、反省しながら。

あと、ほかの分野でもいいです。何か、特
別ななければならないのですけれど、何か感
じるものがあれば、せっかくですから、お話
しいただければ。

○大沼委員 今のICT教育は、確かに大人

よりも、大人があれこれ考えるよりも、子供たちのほうが上手く上手に取り入れていると思います。先日、猛暑のときに学校がお休みになったときなど、急なときでも大人がもっとうまく使いこなせていけると良いかなというふうに感じます。

あと、子供たちが物事を考えて、それに対する意見とか、私たち大人が理解するときに、家庭内での会話は絶対大事だと思うのですよね。家庭内でちゃんと会話をして、そういう家庭の環境が整っていると、教育も充実していくのではないかなというふうに思います。教育のスタートラインは家庭にあるということ保護者の方々と共有して、皆さんでいろいろ考えて、いろいろなことに挑戦していければなというふうに思います。

○平野町長 ありがとうございます。しっかり受け止めます。

○東海委員 同じようにICTのことなのですけれども、僕も学校の視察をさせていただいたときに、1年生ではなかったと思うのですけれども、低学年だけれど、端末で、真面目な授業もやっているのでしょうか、ゲーム感覚のソフトを使って早く回答したら点数がいいとか、そういうようなソフトを使ったりして、結構興味がすごく湧くような授業の仕方をしていたので、それは子供たち一生懸命興味持ってされていたような、すごく一生懸命になるようなやり方で熱心に使われているなというふうに思いました。

あとは、不登校の子供たちにも授業風景とかも端末を使って見せたりとか、そういうのも聞きましたから、やっぱりそういうのも有効によく使われているな。それをきっかけに授業風景が見れたり、ちょっとしたいいきっかけになれば、大変いいふうに使っていただければいいかなというふうに思います。

○平野町長 ありがとうございます。本当に可能性が良く考えれば、たくさん出てくるような機器かなというふうに思うのですね。だから、一つ使い方を間違えれば本当にという

部分もあるし、それをプラスに考えれば、これからいろいろなことに学校、先生方も、それから親御さんたちも考えていったらいいのかなというふうに思うところではあります。ありがとうございます。

それでは、あと教育長のほうから何かありますかね。これだけは、今回まとめるに当たって非常に気を使ったよとか、こんなところは教育長としてはしっかりやりたいなと思った、もしあれば。

○矢萩教育長 先ほど補足という形でお話しさせていただきましたけれども、やはりここは小中一貫教育の推進、子供の数よりは質が鍵になってくるというふうな。やっぱり子供が少ないから統廃合という視点ではなく、子供たちに対していかに良質な教育を提供していくかということ、そこはぶれずにやっていければなと思ったところであります。

○平野町長 ありがとうございます。今言われたことを肝に銘じて、しっかりまとめたいと思います。

それでは、よろしいですかね。この大綱については、最終的には、町の大綱でありますので、首長というか私のほうで決定するわけですけれども、今日の意見を頂いた中で、再度、時間を2週間ほど取ることでいいですね、大体ね。2週間ほど、10月10日ぐらいまでにお気づきの点があれば言っていただいて、もしなければ、これから、本来ならまた教育会議とか開かなくてははいけない。それをちょっと省略して、決定をするというふうに進めたいというふうに思います。その決定をした後に、これからパブコメ等々、議会が全部終わったら、原案を決定して、それで特別大きな意見がなければ、それで決定ですね。決定して議会に説明するというか。決定の段階で、それで決まりなのですけれども、議会にもきちんと説明するという流れを組ませていただきたいと思います。

それでは、今日の案件はこれだけなので、何か皆さんのほうからこの機会にということでご発言があればお受けしたいというふうに

と思いますが。あと、事務局で何かありますか。

○遠藤教育部長 この後、実はお話がありますので、その他は、この後にしたいなと思っていますので、特にこれは。

○平野町長 それでは、これで終わっていいのかな。ちょっとあまりにも。（「ちょっとよろしいですかね。エアコンについてと意見をもしもあれだったら、よろしいですか」と呼ぶ者あり）

（２）その他、意見交換

○平野町長 それでは、その他ということで、何か教育会議の中できちんとお話を、ご意見か何かあれば、きちんとお受けしたいと思います。

○加藤教育長職務代理者 総合教育会議の中で話すお話をさせていただきたいと思うのですが、この後については議事録が残らないということもあるようですので、議事録が残るところでこの話をさせていただければと思います。

先日、熱中症アラートが出て、美幌町の小中学校が休校になった、8月23日だったですかね、その日ちょうど私も、教育長はじめ部長、教育委員のみんなと木野村先生とで十勝のほうの学校の視察に行っていました。これは、小中一貫のことについての視察だったのですけれども、そのこととは別の話として、幕別町と帯広市、この2つの町を回ってきたのですが、その美幌町が休校になっている、網走も休校になっている、女満別も大空町もたしか休校にしたという状況の中で、幕別町に行ったときに、全ての小中学校に既にエアコンが完備されているという状況を聞きました。

午後から学校のほうの視察をさせていただきましたけれども、教室には大きなエアコンが1台ありました。設定温度は比較的高めにはあったのですが、学んでいる子供たちは、ジャージで授業を受けている子が多かったのですが、ジャージの上も着て授

業をしているような、快適に先生の話の聞いているような、授業をやっているようなそういう気配がうかがえました。その日、その幕別町の小学校で、廊下に出るとむっとする。支援クラスには残念ながら、まだ完備はされていなかったのですが、支援クラスに行くと、またさらに暑い。廊下に出ると涼しくなる。その状況を見たときに、やはり支援クラスの子供たちもかわいそうだなという思いをしながら見ましたけれども、逆に美幌町の子供たちも今日授業があるなら、これと同じような状況だったのだなと。

ここ近年、温暖化も進んでいます。今年のこの猛暑の後に、各自治体がエアコンをつけようかという動きがあるという報道なんかも見ました。札幌も、ちょっと休校しているような状態があったという話を事前に聞いていましたけれども、その報道では、これから3年のうちには全部の学校に整備をするというような話も聞きました。全道的にそういう流れがあると思うのですね。

その報道の中では、北海道でもエアコンの小中学校の設置率は15%ほどというふうに書いてありました。そうすると、ほとんどの町はそれで来年つけようかということになると、これから相当の数の需要が生まれてくるのかなというふうに思うのです。

その中であって、美幌町もエアコンをぜひ整備していただきたいというのが、まず1点あるのですが、できれば新年度の、来年の春からの動きということになると、万が一ということも考えられるかなと思うのですね。ですから、もしもできるのであれば、今、余裕のあるうちに。もしも費用的に余裕がどこにあるようでしたら、それを活用していただいて、できれば早いうちにそういった環境の整備というものをお願いできないかなということ、つくづくそのときの状況を見て思いました。

2日目、帯広に行ったときには、義務教育学校でしたけれども、改築をされた校舎でした。新築の部分、改築の部分がありました。

新築の部分にはエアコンが完備されていました。子供たちはプール授業だとか、そちらのほうの新しい校舎の多目的教室を使っただけの授業だとか、そういうことでしのいでいました。

それで、各教室はどうかというと、ウインドエアコンがついていた、窓付けの。これでも結構涼しいかなという感じはしたのですが、せつかくこういうことを整備するのであれば、しっかりしたエアコンを各教室に取り付けて、子供たちのために何とか環境を整備していただきたいなというのを感じたものですから、ぜひとも早期の、そちらのほうの動きというものもお願いしたいと思ひまして、この場で話をさせていただきました。どうぞよろしくお願ひします。

○平野町長 ありがとうございます。エアコンの話は、次の会議の中でもちょっとお話しさせていただきますけれども、今頂いた意見をしっかり受け止めたいというふうに思っておりますので、そういうふうにご理解いただきたいというふうに思ひます。

ほか何かあれば、なければ終わってよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○平野町長 ありがとうございます。一応、これで第1回の教育会議の部分、私の部分は終わらせていただきたいと思ひます。あとは、また遠藤部長のほうに司会を戻しますけれども、少しでも皆さんと多くこういう会議を催す機会を多くつくっていきたくと思ひますので、また今後ともどうぞよろしくお願ひします。ありがとうございます。

4 閉 会

○遠藤教育部長 平野町長、ありがとうございます。また、貴重なご意見、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年第1回美幌町総合教育会議を閉会いたします。お疲れさまでございました。